

オノマトペ：日本とアメリカの大学生の間での使用、認識、および感覚の比較研究

1. こんにちは。私の名前はアレクサンダー・ダクヤンと申します。本日は日本とアメリカの大学生の間でのオノマトペの使用、認識、および感覚の違いについてお話ししたいと思います。
2. こちらはプレゼンテーションの概要です。
3. 日本語を勉強し始めたとき、日本人の留学生がさまざまなオノマトペを使っているのを聞きました。私は彼らが日常会話で使うオノマトペの多さにおどろきました。これをきっかけに日本人とアメリカ人の間のオノマトペの違いについて調べることにしました。
4. こちらは私の研究質問です。1 オノマトペの使用状況と認識が日本とアメリカの大学生の間でどのように違うのか。2 日本とアメリカの大学生の間でオノマトペの使用に対する感覚はどう異なっているのか。
5. こちらは私の研究背景です。まず初めに、アメリカ人と日本人のオノマトペの定義について述べます。次に、いくつかの例について話します。そして最後に、使用状況について発表します。
6. アメリカではオノマトペとは音から形成された単語を指します。いろいろな定義がありますが、どれも似ています。一方日本では、オノマトペは擬音語と擬態語という二つのグループに分けられます。擬音語とは特に動物や人間の動作を表したり、アクションの音が含まれます。擬態語とは感情や、特定の物の状況、また抽象的な考えを表します。
7. こちらが多くの人々になじみのある基本的なオノマトペの例です。それぞれの対になっている言葉が同じ意味を指します。またこれらのオノマトペはアメリカ人と日本人のそれぞれのオノマトペの定義を含んでいます。
8. 英語と日本語の間では使えるオノマトペの数に大きな違いがみられます。研究によるとアメリカでは約 **278** 語のオノマトペがある一方、日本語には **5000** 語以上ものオノマトペがあります。
9. 研究手段として日本語と英語でのオンラインアンケートを使用しました。アメリカ人 **29** 人、日本人 **29** 人の合計 **58** 人の **18** 歳以上の大学生に協力してもらいました。
10. 次の何枚かのスライドは、オノマトペの使用状況と認識についての研究質問 **1** に対応するものです。
11. こちらのグラフはアメリカ人のオノマトペの使用頻度について表しています。質問は；以下の状況でどのくらいの頻度でオノマトペを使いますか？でした。アメリカ人の学生は子供や友達といる時、また歌を歌うときによくオノマトペを使います。
12. こちらのグラフは先ほどの質問の日本人の回答です。日本人の学生は友人や、子供たち、また家族と一緒にいるときに、一番多くオノマトペを使います。
13. こちらのグラフはアメリカ人のオノマトペの認識について表しています。アンケートでの質問は；以下の状況でどの程度オノマトペを使っていると思いますか？でした。グラフはもっとも一般的な **7** つの状況を表しています。アメリカ人の学生は子供といる時、公共の場にいる時、また友人といる時にオノマトペを使っていると認識しています。

14. こちらのグラフは先ほどの質問の日本人の回答です。日本人の学生は、家族や友達、子供たちという時にもっともオノマトペを使っていると認識しています。
15. こちらのグラフはオノマトペの使用が何に影響されているかについて表しています。アンケートの質問は；以下の状況からオノマトペの使用についてどのような影響を受けていますか？でした。13項目の中から、もっとも影響が大きかった3項目を比較することにしました。アメリカ人はほとんどが漫画/アニメ、友人、の影響を受けていると答えました。また、全体的に「強く同意しない」と答えた人や、影響について「該当なし」と答えた人もいました。
16. それでは、再び同じ質問の日本人の回答を見てみましょう。日本人のほとんどは友人、家族、そして漫画の影響を受けていると答えました。驚くことに、「強く同意しない」や「該当なし」、という回答はゼロでした。
17. 研究質問1のまとめをします。一般の日本人学生はアメリカ人に比べて、オノマトペに対して意識と使用頻度が高いことがわかりました。日本人もアメリカ人も、多くの場合に子供や友人とオノマトペを使います。しかし日本人は家族にもよく使います。アメリカの学生は、最もカートゥーン、家族、漫画の影響を受けている一方、日本人は、家族、友人、漫画に影響されています。また、日本人は影響力の大きな部分として、「地域」をあげています。アメリカ人からは「強く反対」と「該当なし」という意見がありましたが、日本人からはそのような意見はありませんでした。
18. 次の何枚かのスライドは、オノマトペの使用に対する感覚についての研究質問2に対応するものです。
19. こちらのグラフは以下のオノマトペについて大人っぽく感じるか、子供っぽく感じるかを表したものです。ここにある10個のオノマトペは擬音語と擬態語から成る様々な種類のものを含んでいます。アンケートの質問は；次のオノマトペを大人っぽく感じますか、それとも幼いと感じますか？でした。アメリカ人は10個のオノマトペのうち、5個が大人っぽいと答えました。またむしやむしや、シュッシュッ、および、ポーン、を示し、幼稚であると答えた割合が最も高かったです。
20. こちらのグラフは先ほどの質問の日本人の回答です。日本人は「ふう」を、最も大人っぽいものとししました。しかし、オノマトペの大半は「どちらできない」または「やや幼稚」と「幼稚な」という間で意見がわかれました。黒い楕円形は日本人の学生からの回答の大部分を示しています。
21. このグラフは、オノマトペの個々の重要性に焦点を当てています。赤い楕円形は、両国の大半はオノマトペが重要であると考えていることを示しています。黒い円は、同様に「重要」と「非常に重要」を選んだ日本人の割合が全体的により高いことを示しています。
22. このグラフは、人々が擬音語を使用する理由に焦点を当てています。アメリカ人の大部分はオノマトペを使用し、最も人気のある理由は、「気持ちや感情」「強調」、および「ある特定の音」を表現するためと答えました。日本人は「気持ちや感情」「衝撃や驚き」と「ある特定の音」が「使用される理由だと答えました。青と赤の円は、アメリカ人と日本人の違いを示し、黒は似ている結果を示します。

23. 研究質問 2 のまとめをします。日本人はオノマトペが大人っぽくも幼稚と知っていることがわかりました。そして、日本人とアメリカ人の学生共にオノマトペは重要であると答えました。日本人とアメリカ人のオノマトペを使用する最大の理由は感情を表すため、音を表現するためだと答えました。しかし、日本人は「衝撃や驚き」、アメリカ人は「強調」を 3 番目に選びました。ここで日本人の 2 倍の数のアメリカ人の学生がオノマトペの使用の理由が「強調」だとした。ことはきょうみぶかかったです。
24. 最後に結論です。オノマトペは、世界中で使われていますが、必ずしもすべての国が同じものを使用しているとは限りません。アメリカ人は日本人に比べて、おのまとペが非常に少ないです。また、アメリカ人は日本人に比べて多少違う用途、意識や認識を持っています。調査データは、日本人はアメリカ人よりも多くの使用状況や認識を持っていることを示しています。一貫して日本人はオノマトペに対する意識と使用に対する項目に肯定的な反応をしめしました。オノマトペの認識は日米が似ているように見えますが、じつは、多くの違いも同様にあります。
25. これが参考文献です。
- 26.
27. 私は、私をサポートしてくれた齋藤先生と関根先生に感謝したいと思います。また、私のクラスメート、友人、家族にも感謝します。ありがとうございました！